

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2021.11.11

NO, 6 4

＜児童会～赤い羽根共同募金～＞

募金総額→22184円

児童会の子どもたちが、先週、校内で募金活動をしてくれました。今回は「赤い羽根共同募金」です。この赤い羽根共同募金ですが、第二次世界大戦後、1947（昭和22）年に「国民たすけあい運動」として始まりました。「困ったときはお互いさま」の気持ちから、第1回目の共同募金運動ではおよそ6億円の寄付金が寄せられました。現在の貨幣価値にすると、1,200億円に相当するといわれています。現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ。」として、地域のさまざまな福祉活動を支援しています。募金されたお金は、同じ都道府県内で、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられているということです。

さて、児童会の子どもたちが、この募金をしての感想を寄せてくれました。

赤い羽根の募金活動に協力しての児童会役員の感想

- ・学校みんなで協力して集まったこの22184円が世の人たちの役に立ったらいいなあ
- ・これまでも募金はしてきたけど、より一層、募金って大切だなあと感じました
- ・22184円も集まるなんて、みんなが協力するとすごい大きなものになるんだと思った。
- ・貧困に苦しんでいる子どもたちのために役立ててほしい。

(次号へ)

